

安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄 ビジョン

「アルテの未来 = アルテ フトゥーラ」概要版

1. ビジョン策定の趣旨・目的

安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄は、オープンから 25 周年となり、敷地面積、展示作品数も当時よりも大きく増え、近年は、海外からも注目されるようになりました。

しかし、施設や彫刻などの経年変化による損耗などがあるほか、海外や道道美唄富良野線開通後の来館者の増加対応、市民の関心の低さなど、様々な課題に対応しながら、この世界でも稀な美術館を、美唄を語れる場所として、将来の市民に受け継げるようにするため、このビジョンをまとめました。

2. ビジョンの位置づけ・期間

第 6 期美唄市総合計画後期基本計画を最上位とし、第 2 次美唄市生涯学習推進計画後期基本計画に基づく個別計画の位置付けとし、平成 30 年度から 10 年間を期間とし、次期総合計画と整合性を確認するため、平成 32 年度、平成 37 年度に見直します。

3. 現状と課題

(1) 現状

- ・来館者数は、近年 10 年間で横ばいから減少傾向にあり、おおむね 1 : 9 で市外からの来館者が多い状況です。
- ・平成 29(2017)年末の展示作品数は 45 点です。
- ・美術館での芸術振興等の事業は、市 1 件、中学校授業 1 件、NPO 法人事業 7 件あります。
- ・指定管理制度で運営していますが、市の委託費よりも実際にかかる経費が多くなっています。NPO 法人の自主事業収益により、不足する管理事業費を補填して収支均衡を図っていますが、経営的には厳しい状況が続いています。
- ・作家や NPO 法人は、長年の活動で国内外から様々な賞を受賞しており、市も美術館があることにより、文化長官表彰などを受けています。
- ・市民の意識としては、美術館を認識はしているが、興味度が低い状況です。
- ・美術館の敷地は、野生動物の生息域になっています。

(2) 課題

・現状を踏まえ、全体的な課題として、アートスペースやギャラリーなど既存施設の経年変化による損耗や、大型彫刻の保護のため室内の展示空間がないこと、彫刻の保全手法の確立、各種設備の老朽化、増加する来館者受け入れに対応した環境整備、美術館に対する市民意識の高揚、将来にわたっての環境維持のため必要な人材を確保することなどがあげられます。

4. 具体的な施策の展開

・具体的な施策を、短期的施策・中期的施策に区分し、基本理念の具現化を念頭に置きながら、次の内容について取り組みます。また、ビジョンの進捗を確認するため、進行管理を行います。

(1) 既存施設の保全(中期)

来館者への影響を最小限にしつつ、保全が必要な部分について、手法の検討を踏まえながら、段階的な改修に努めます。

(2) 野外彫刻の保全と新たな美術館の建設 (短期)

補修手法の確立や定期的な保護作業を続けるとともに、新たな作品の展示空間として、新美術館棟の整備に努めます。

(3) 既存設備・周辺環境の整備等 (中期)

水の広場の給排水設備や駐車場の舗装化、敷地内の無電柱化などの整備とともに、都市計画マスタープランなどと整合性を図り、適切な環境保全に努めます。

(4) 市民意識の高揚 (中期)

来館者の動向や、本美術館の価値・魅力などを、市民や市内団体に伝えることで、市民意識の醸成に向け取り組みます。

(5) 指定管理者制度による施設管理 (短・中期)

指定管理者制度による管理を継続し、適切な運営を行います。

(6) ソフト事業の拡充（短・中期）

学校事業との連携や、美術館で展開する芸術振興等の事業を拡充することで、美術館事業の普及啓発や芸術文化活動を推進し、市民の創作活動の高揚を図ります。

(7) 環境維持のための人材確保（短・中期）

彫刻や施設保全には、手がける人材が重要であるため、運用や保全に必要な職員の確保に努めます。

5. 具体的施策のスケジュール予定

各施策を進めるにあたっては、財源対応や施設の状況などを把握しながら、取り組みます。

	H30	H31	H32	H33	H34	H35～H39
既存施設の保全	市・作家・NPOの協議 既設施設の保全策検討※1			検討結果の 具体的な取り組み		
野外彫刻の保全 ・新美術館の建設	用地確保					
	設計・建設					
	作品保護手法の検討・実践					
既存施設 ・周辺環境整備	緊急性・必要性の順に整備					
	土地利用対策			駐車場整備		
市民意識の高揚	景観保全対策・市民周知					
施設の管理運営	指定管理制度に基づくNPO法人との協力					
ソフト事業拡充等	普及事業の紹介・支援					
人材確保	運用や保全に必要な人材確保					

※1 屋根については緊急性があるため早期改修が必要